

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年1月14日(2021.1.14)

【公表番号】特表2020-501656(P2020-501656A)

【公表日】令和2年1月23日(2020.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2020-003

【出願番号】特願2019-530707(P2019-530707)

【国際特許分類】

A 6 1 C 7/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 7/14

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月30日(2020.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

歯列矯正ブラケットであって、

外側本体と、

前記外側本体に結合された内側本体であって、エラストマーである内側本体と、

歯に結合するように構成されたブラケットベースと、

を備え、

前記内側本体が、前記外側本体と前記ブラケットベースとの間に配置され、

前記内側本体が、少なくとも0.1mmの厚さを有する、歯列矯正ブラケット。

【請求項2】

前記外側本体が、前記外側本体の一部から形成されたスロットを含む、請求項1に記載の歯列矯正ブラケット。

【請求項3】

前記内側本体が、前記外側本体の少なくとも1つの主表面に少なくとも部分的に接触する、請求項1に記載の歯列矯正ブラケット。

【請求項4】

前記内側本体が、少なくとも1つの突出部を備える、請求項1に記載の歯列矯正ブラケット。

【請求項5】

前記外側本体が、前記内側本体の前記突出部のうちの少なくとも1つと連結するための少なくとも1つの凹状領域を備える、請求項4に記載の歯列矯正ブラケット。

【請求項6】

前記内側本体が、前記外側本体を前記ブラケットベースに対して少なくとも20%屈曲させるのに十分なポリマー材料を含む、請求項1に記載の歯列矯正ブラケット。

【請求項7】

前記内側本体が、2500メガパスカル以下の弾性率を有する、請求項1に記載の歯列矯正ブラケット。

【請求項8】

前記ブラケットベースが第1の厚さを有し、前記内側本体が第2の厚さを有し、前記第2の厚さが少なくとも前記第1の厚さである、請求項1に記載の歯列矯正ブラケット。

【請求項 9】

1つ以上の歯を受け入れるように成形された1つ以上のキャビティをそれぞれ有する複数のポリマーシェル部であって、前記複数のシェル部のそれぞれが、他の前記複数のシェル部から分離されるように形成されている、複数のポリマーシェル部と、

請求項1に記載の歯列矯正プラケットと、

を備え、

前記プラケットベースが、ポリマーシェル部である、取り外し可能な歯科装具。

【請求項 10】

前記歯列矯正プラケットに結合されたアーチ部材を更に備え、前記アーチ部材が、1つ以上の歯を第1の向きから連続的な向きに再配置するための1以上の力を付与する、

請求項9に記載の取り外し可能な歯科装具。